

2 健康の状況

(1)健康状態の変化

健康状態が「第1回からずっと「よい」と思っている者の割合は、調査回を追うごとに減少、「その他の変化」の者の割合は増加

第1回調査から各調査回までの健康状態の変化をみると、「第1回からずっと「よい」と思っている者は、第13回では45.5%、第17回では38.3%と、調査回を追うごとに減少している。一方、「その他の変化」(第1回から各調査回までに「よい」・「わるい」を繰り返している)の者は、第13回では37.8%、第17回では42.6%と増加している。(表2)

表2 第1回調査から各調査回までの健康状態の変化

(単位: %)

	第1回調査からの健康状態の変化					
	総数	第1回からずっと「よい」	「わるい」から「よい」に変化	第1回からずっと「わるい」	「よい」から「わるい」に変化	その他の変化
第13回	100.0	45.5	2.2	1.9	3.8	37.8
第14回	100.0	43.4	1.9	1.8	3.6	39.4
第15回	100.0	41.8	1.8	1.7	3.3	40.7
第16回	100.0	40.3	1.7	1.6	3.0	41.9
第17回	100.0	38.3	1.6	1.5	3.7	42.6

注: 総数には第1回調査からの健康状態の変化の不詳を含む。

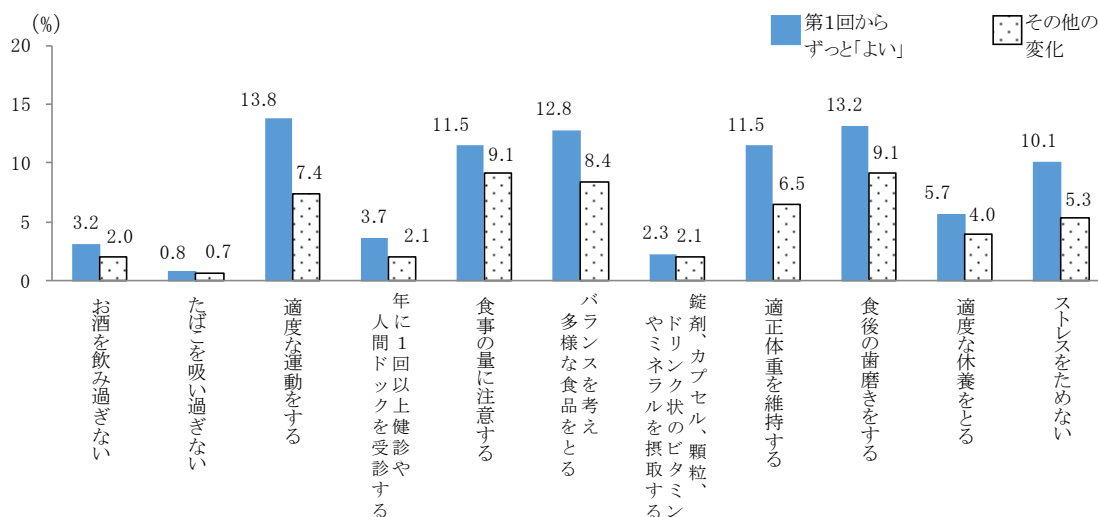
(2)健康維持のために心がけていること

第1回調査から継続して健康維持のために心がけていることについて、健康状態が「第1回からずっと「よい」と思っている者と「その他の変化」の者を比べると、「適度な運動をする」で最も差が大きい

第1回調査から継続して健康維持のために心がけていることを健康状態の変化別にみると、「第1回からずっと「よい」と思っている者は、「適度な運動をする」13.8%、「食後の歯磨きをする」13.2%などが高く、「その他の変化」(第1回から第17回までに「よい」・「わるい」を繰り返している)の者は、「食事の量に注意する」9.1%、「食後の歯磨きをする」9.1%などが高い。

全ての項目で「その他の変化」の者より「第1回からずっと「よい」と思っている者の割合が上回っているが、最も差が大きいものは、「適度な運動をする」の6.4ポイント差となっている。(図2)

図2 健康状態が「第1回からずっと「よい」と思っている者、「その他の変化」の者の第1回調査から継続して健康維持のために心がけていること(複数回答)



注: 第17回の「第1回からずっと「よい」と思っている者、「その他の変化」の者の総数を100としたときの割合である。